

第38回ムトス賞受賞団体

平和の種プロジェクト実行委員会

—平和の種プロジェクト—

プロジェクトの立ち上げ

令和4年5月、戦火を逃れたウクライナの皆さんが、避難民として高森町に来町されました。交流する中で避難民の皆さんから、ウクライナに残してきた家族を心配する言葉や、母国の平和復興を願う気持ちを聞き、心を打たれ、「私たちだから出来る支援をしたい」と考え活動を始めました。(ひまわり応援隊としての活動は令和3年4月より始めており、本プロジェクトはその中の一つです)

プロジェクトの概要

活動の流れは以下の通りです。

「ひまわり種の配布」→「ひまわりの栽培」→「ひまわり種の収穫と回収」
→「ひまわり油の製造販売」→「売上金の寄付」→「写真展の開催」



6月 種蒔き(作業後に皆で記念撮影)

これまでの活動報告

「ひまわり種の配布」「ひまわりの栽培」「ひまわり種の収穫と回収」

飯田下伊那14市町村をはじめ長野県内各地の賛同者に、約35万粒の種を配布しました。8月から9月には多数のひまわりが開花し、収穫期には企業、団体、個人から、約1.6トンのひまわり種が集まりました。(新聞紙上やテレビニュースでも、その都度取り上げて頂きました)



8月 遊休農地が一面のひまわり畑に変身

「ひまわり油の製造販売」

阿南町の加工所等でひまわり種を絞りと、ひまわり油を製造し販売しています。

「売上金の寄付」

ひまわり油の製造費用を除く売上金の全額を寄付する予定です。

「写真展の開催」

ひまわりの開花風景や、プロジェクトに関する写真や資料の展示を予定しています。



9月 収穫(大変暑中での作業でした)

活動を振り返って

プロジェクトを行う中で強く感じたことは、「想いは必ず繋がる」ということです。初めは小さかった活動も、人から人に心が通じ、次第に大きく成長していったような気がします。また、趣旨に賛同しご協力下さった方々の中には、「遊休農地や耕作放棄地の活用」、「教育的プログラムへの組み込み」、「地域組織の活動として」、「高齢者施設でのアクティビティーとして」、「ひまわり油を使用した地場製品の開発」等々、様々な形で活用されました。ひまわりはもちろんですが、プロジェクトの活動自身も大きく広がりのある可能性を持っていると感じています。これからも歩みを止めず、一步一步、地域の皆さまと共に活動して参ります。

■委員長：堀本喜正ほりもとよしまさ 副委員長：菅沼文昭すがぬまふみあき

■会員数：10名

■活動地域：飯田下伊那14市町村をはじめ長野県内各地

■配布した種の総数：約35万粒 集まった種の総重量：約1.6トン



11月 ひまわり油の製造がはじまりました